

社会資本総合整備計画 事後評価書													令和08年09月25日			
計画の名称	寒河江市における安全で安心な水道の整備															
計画の期間	令和06年度 ～ 令和07年度 (2年間)											重点配分対象の該当				
交付対象	寒河江市															
計画の目標	水道整備を行い、安全で安心な暮らしを実現する。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		111	A	111	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R6	R7
1	配水本管の耐震化率を33.1%（R5）から34.6%（R7）にする。			
	配水本管耐震化率（%）	33%	34%	34%
	耐震化済み配水本管延長（m）／配水本管延長			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	寒河江市	直接	寒河江市	－	－	配水管布設替	配水管布設替Φ200 L=160m Φ100 L=730m	寒河江市	■	■				111		－
											小計						111		
											合計						111		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当課で数値目標の達成率や事業効果の発現状況を検証した。	担当課で数値目標の達成率や事業効果の発現状況を検証した。
	公表の方法 本市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	未耐震化配水本管の整備を計画的に行い、未耐震化区間の整備を早期に実施した結果、目標値となる34%の整備率となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
未耐震化配水本管の解消のため順次整備を実施していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震化済み配水本管延長（m）／配水本管延長		
	最 終 目標値	34%	
	最 終 実績値	34%	